

21世紀新しい 199名の門出

成人の日を迎えて



長倉 柳橋 浩男 さん

早いものでもう二十歳、成人式を迎えることとなりました。

二十一世紀初めての成人というのは、幸運めいた感じがする反面、何か重大な使命を負ってしまったような感じもあります。

この成人式を境に大人の仲間入りとなるのですが、実感がわいてきません。なぜなら、今後の生活も以前と変化することもなく、私は未だ学生であり経済

面など様々なところで両親に助けられています。早く自立したいと思う気持ちもあるのですが、もう少し親の脛をかじっていたいと思う気持ちもあり、まだまだ一人前の大人にならないような気がします。

しかし、久しぶりに旧友と会い、就職して立派な社会人になっている者や家庭を築いている者もいて、驚くと共に自分もすっかりしなければと自覚しました。

私も二十歳になり、大人として世間から見られるようになり、社会に対する責任と義務が重くのしかかってくると思います。その重圧を跳ね返せるような立派な大人になれるよう、二十一世紀を担うものの一人として、さらなる成長を遂げられればと思います。

一歩一歩大人への自覚



栗山 山本 千尋 さん

二十一世紀になり、新たな気持ちでスタートした今年、私は成人式を迎えました。

しかし、二十歳になっても大人の仲間入りをしたという思いはなかなか持てないでいたが、成人式に出席し、ようやく「大人」という実感が湧いてきた感じでした。

先日、幼稚園時代にお世話になった先生より、二十歳になったお祝いのメッセージをいただきました。これまでを振り返ってみると、小学校・中学校・高校の先生方、

両親に支えられながら、そして友達に励まされながらといったように、周りの人たちに頼ってばかりで、果たして自分一人ですべての事をやり通してきたのかと思いついてみても、なかなか思いつかないのが正直なところでした。

二十歳になったのだから「自分のことは自分で責任を持って」と言いたいところですが、まだまだ大人になりきれず、むしろ子供の部分が目立ち、頼りにならないところが多くあるのではないかと思います。

今頑張るって背伸びをしても、おそろく大人の「ふり」をしているにすぎないでしょう。これからいろいろな人々、特に両親からは様々なことを教えられていくだろうし、普段の生活の中からもたくさんのお話を学び、一歩一歩大人としての自覚を身につけていけたらと思います。

祝辞に聞き入る成人者の皆さん



あちらこちらで記念撮影



式典が始まり真剣に